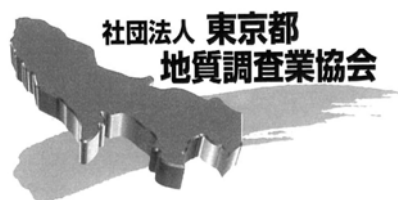


東地協ニュース 2009.5 第16号



広報活動に思うこと

広報副委員長 神馬 誠

広報委員4年目を迎えた今年、転勤により勇退する山口前副委員長のご指名により副委員長を拝命することになりました。広報活動の担当エリアはこれまで同様東京北東部（第二地区）となりますが、地域の皆様並びに協会関係者の皆様引き続きよろしく願いいたします。

広報活動は春季と秋季の年2回行われ、協会報や協会パンフレット、技術ノートなどを配布しています。また、区民並びに区職員を対象とした講習会の要望なども受け付けています。1班2～3名で手分けして回りますが、何せ資料が重く、実はこれが大変なのです。車で回ろうにも地方に住み田舎道しか走ったことのない私にとって、都心の道ほど苦手なものはありません。会社調達の車は当然ナビなど付いている筈がなく、道路地図頼りの運転も、案内標識の地名や方角が分からないため危なっかしくて仕方ありません。隣で道案内してくれる人がいないととても運転できないのです。もうじき春季広報活動の時期がやってきます。

こうした広報活動ですが、区役所を始めとする諸官公庁の皆様のご丁寧な応対と、「ご苦労さまです」、「資料いつも読ませてもらっています」などの言葉には励まされます。公益法人への多少のリップサービスはあるとしても、やはり嬉しいものです。他方、公益法人であるがゆえに「当協会員にご用命を」といえないもどかしさや、協会員の経営近代化の促進に貢献できているかとの疑問も生じてきます。100年に一度とも言われる世界的不況のなかで、協会員各社の経営も当然厳しく、協会からの退会も顕在化してまいりました。法人化10周年を経て、協会活動のあり方に新たな取り組みが必要になってきているように感じられます。

ところで、先頃、2016年夏季五輪に立候補している東京の各施設を視察するため、IOC評価委員が来日いたしました。世界一コンパクトで環境にやさしい五輪を掲げて入念に準備し、石原都知事自らが案内して回った東京は、委員に好印象を与えたと報じられています。対抗都市はオバマ大統領の地元シカゴ、南米初の五輪開催を訴えるリオデジジャネイロ、2012年に続き再挑戦のマドリードといずれも手強い相手ばかりです。開催地決定は10月2日、世界最大のスポーツの祭典と感動を東京で観たいと願っています。

会議報告等

理事会

1. 21年1月16日 理事会

- (1) 会員の退会について
 (株)土質基礎コンサルタンツ (12月末日付)
- (2) 第22回通常総会について
- (3) 平成21年度事業と予算の方針について
- (4) 公益法人制度改革について
- (5) 環境省「今後の土壌汚染対策の在り方について
 (案)」に関するパブリックコメントについて
- (6) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース No. 15 について
- (7) 広報委員会関係
 - 1) 委員の交替について
 - 2) PR活動報告
 - 3) 新宿区防災講演会 報告 (12月14日・山崎先生)
 - 4) 日野市防災講演会について (2月8日・山崎先生)
 - 5) 墨田区防災講演会について (2月19日・若松先生)
- (8) 技術委員会関係
 - 1) 委員の交替について
 - 2) 次回の防災展への対応について
 - 3) 21年度活動行事について
- (9) 収支報告 (11月, 12月分)
- (10) 新年広告掲載(建通新聞社)について
- (11) 東京都議会自由民主党幹事長就任祝賀会 出席報告
- (12) 「東京オリンピック・パラリンピック招致サポーター大集合」イベント参加報告

2. 21年2月26日 理事会

- (1) 会員の退会について
 日鉄鉦コンサルタント(株) (1月末日付)
- (2) 第22回通常総会について
- (3) 20年度仮決算と21年度事業と予算について
- (4) 総務委員会関係
 - 1) 東地協ニュース No. 15 について

- (5) 広報委員会関係
 - 1) PR活動予定
 - 2) 技術ノートを都立高校へ配布 (210校)
 - 3) 日野市防災講演会 報告
 - 4) 墨田区防災講演会 報告
 - 5) 受注動向調査表 (9月分)
- (6) 収支報告 (1月分)

3. 21年3月18日 理事会

- (1) 第22回通常総会の進行について
- (2) 模式地形断面図の使用承諾について
- (3) 技術ニュース No. 76(関東地質調査業協会発行)からの執筆依頼について
- (4) 東京都議会自由民主党「平成20年度補正関係資料」について
- (5) 会員の退会について
 住鉦コンサルタント(株)東京支店 (3月末日付)
- (6) 技術委員長の交替について
- (7) 21年度賠償責任保険について

4. 21年4月21日 理事会

- (1) 会員の退会について
 地質計測(株) (3月末日付)
 多摩ボーリング(株) (3月末日付)
 大進開発工業(株) (4月末日付)
- (2) 20年度収支決算報告について
- (3) 21年度収支予算(案)の一部修正について
- (4) 第23回通常総会について
- (5) 技術ニュース No. 76 執筆依頼について
- (6) 技術ノートに掲載した図の転載申請について
- (7) 21年度賠償責任保険について
 申込会社の減少により、団体扱いでの申し込みができなくなったため、21年度分より契約できないこととなった。

第 22 回通常総会(予算と事業計画)

去る 3 月 18 日(水)、測量地質健保会館 7 階大会議室において第 22 回通常総会が開催された。当日は会員数 35 社に対し、26 社が出席(うち委任状提出 12 社)。議事の概要は以下の通り。全議案が承認された。

- (1) 平成 21 年度事業計画(案)承認の件
- (2) 平成 21 年度収支予算(案)承認の件
- ※ (1), (2)ともに異議無く承認された。
- (3) 役員の一部改選の件

理事の大越良裕氏、田中政治氏、赤瀬暁氏、大竹勉氏の辞任に伴い理事 1 名の補充が提案され、以下の方が就任された。(任期：平成 22 年 3 月 31 日)

理 事 西 原 聡 氏

中央開発(株)東京支社 執行役員 副支社長

- (4) 定款変更(役員定数)の件

社団法人化から 10 年が経過し、会員数が徐々に減少、協会の事業運営も縮小を強いられている現状をもって、役員定数について下記のとおり見直しを図る旨提案され、承認可決された。

① 理事の定数

13 人以上 17 人以下 → 8 人以下 13 人以内

② 副会長 2 人 → 1 人から 2 人以内

<第 22 回通常総会>



(社)東京都地質調査業協会

理 事 会

(平成 21 年 4 月末日現在)

会 長	早田 守廣	(大和探査技術(株))
副会長	金道 繁紀	(株)地盤試験所
理 事	安田 進	(東京電機大学 理工学部 建設環境工学科 教授)
〃	山崎 晴雄	(首都大学東京 都市環境学部 地理環境コース 教授)
〃	若松加寿江	(関東学院大学 工学部 社会環境システム学科 教授)
〃	片山 浩明	(東邦地下工機(株) 企画開発本部 開発部 次長)
〃	榎本 光孝	(株)インターナショナル・サーボ・データ 代表取締役)
〃	小川ひろし	(株)三誠 専務取締役)
〃	佐藤 剛	(日本物理探査(株))
〃	中込 実敏	(協和地下開発(株))
〃	西原 聡	(中央開発(株))
監 事	原島 滋	(株)ダイエーコンサルタンツ)
〃	小野寺 靖	(多摩ボーリング(株))



委員会報告

【 総務委員会 】

◆ 4月総務委員会 平成21年4月8日

- (1) 東地協ニュース No. 16 について
- (2) 第23回通常総会について
- (3) 20年度収支決算報告
- (4) 会員の動静について

総務委員会メンバー (平成21年4月末日現在)

委員長	佐藤 剛	(日本物理探査株)
副委員長	鈴木 明夫	(株セントラル技研)
委員	赤澤 元重	(川崎地質株)
〃	津川 明宏	(株大東地質)
〃	羽鳥 みどり	(応用地質株)

【 広報委員会 】

平成20年度 第3回広報委員会 平成21年3月25日

- (1) 各担当地区の広報活動報告
- (2) 第22回通常総会 報告
- (3) 委員の辞任・交替について
 - 〈新任〉 吉野 新一 氏 (川崎地質株)
 - 〈辞任〉 奥山 智央 氏 (川崎地質株)
 - 五十嵐 幸介 氏 (地質計測株)
 - 須藤 博 氏 ((株)東京ソイルリサーチ)

広報委員会メンバー (平成21年4月末日現在)

委員長	中込 実敏	(協和地下開発株)
副委員長	黒金 牧子	(株ダイエーコンサルタンツ)
〃	前山 久和	(株ダイヤコンサルタンツ)
〃	神馬 誠	(基礎地盤コンサルタンツ株)
〃	鈴井 孝一	(大和探査技術株)
委員	和賀 憲洋	(中央開発株)
〃	番場 弘和	(千葉エンジニアリング株)
〃	吉田 幸男	(応用地質株)
〃	阿部 信	(株東建ジオテック)
〃	大塚 信二	(日本物理探査株)
〃	吉野 新一	(川崎地質株)
〃	関根 一民	(株地盤調査事務所)
〃	木村 奈都	(大成基礎設計株)

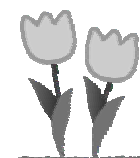
【 技術委員会 】

☆ 4月技術委員会 平成21年4月15日

- (1) 新任委員の紹介と担当部会の見直しについて
- (2) 講演部会
 - 1) 21年度行事の打合せ
 - ・地質巡検
 - ・防災講演会
- (3) 技術ノート部会
 - 1) 技術ノート No. 42 について
- (4) 環境部会関係
 - 1) 外部からの問い合わせ対応マニュアルの見直し
 - 2) 21年度行事の打合せ
 - ・会員企業向け勉強会 (7月頃 予定)
 - ・分析機関見学会 (10月頃 予定)
 - ・その他の講習依頼等への対応について

技術委員会メンバー (平成21年4月末日現在)

委員長	西原 聡	(中央開発株)
<u>講演部会</u>		
副委員長	菊地 大郎	(株ダイエーコンサルタンツ)
委員	安江 徹也	(千葉エンジニアリング株)
〃	細根 清治	(株東建ジオテック)
〃	堀ノ内 央	(応用地質株)
<u>技術ノート部会</u>		
副委員長	金井 亮	(日本物理探査株)
委員	世森 祐一	(大和探査技術株)
〃	川井 康右	(川崎地質株)
〃	諏訪 朝夫	(基礎地盤コンサルタンツ株)
<u>環境部会</u>		
副委員長	糸賀 浩之	(川崎地質株)
委員	五月女 寛	(川崎地質株)
〃	野中 和久	(株日さく)
〃	百瀬 忍	(基礎地盤コンサルタンツ株)
〃	樋口 靖	(株地盤試験所)
〃	杉原 勝利	(大成基礎設計株)



トピックス(協会行事紹介)

防災講演会 (3件)

新宿区防災講演会「活断層と地盤防災」

平成20年12月14日新宿区役所5階大会議場にて、午前10時40分より午前11時40分まで平成20年新宿区防災・防犯リーダー実践塾講演の一部として、首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 山崎先生による「活断層と地盤防災」と題し講演を行った。会場に集まった地域防災リーダーの方々が熱心に耳を傾けていた。

日野市防災講演会「日野市の地形と地質と地盤防災」

平成21年2月8日 日野市民会館小ホールにて約130名の地域リーダーを対象とし実施した。

日野市長挨拶後、10時05分より11時30分まで、山崎先生「日野の地形・地質と自然災害」と題して

- ・最近の地震：M7級内陸地震が多発、大地震の前兆か
- ・地震の基礎知識
- ・日野市の土地条件(地形地質)：多摩丘陵、日野台地、多摩川・浅川沖積地

- ・日野市の自然災害：洪水災害
- ・関東地震の被害

の項目の講演を行った。防災リーダーの方は身近な話題で真剣に聞かれていた。

墨田区防災講演「墨田区の地形と地質」

平成21年2月19日墨田区役所庁舎12階121会議室にて区職員(出席者23名)を対象とした墨田区役所防災講演会を実施した。講演は午後18時より20時まで関東学院大学工学部社会環境システム学科教授 若松先生による「墨田区の地形と地質」。講演終了後、区職員から熱心な質問があり、活発な意見交換が行われた。



講演風景

会員コーナー

『お酒の楽しみ』

1月に仕事で仙台に行った帰りに駅構内で地酒フェアに出会いました。時間つぶしに見ていると「蔵元出荷宮城県内限定 浦霞しぼりたて生原酒(本醸造) 720ml ¥1,281-」が目に入り反射的に買ってしまいました。自宅に持ち帰り早速味わうと「うまいこと、うまいこと」

そこで「しぼりたて」なるものを調べてみると、「秋に穫れたばかりの新米で寒仕込まれた新酒を、翌年の1月頃に搾りたてのまま瓶詰めしたのが新酒生酒(初しぼり)」とありました。

しぼりたてのお酒のフレッシュ感を大切にするため、火入れをしない生酒のまま瓶詰めします。熟成された秋のお酒(ひやおろしと言うのだそうです)とは正反対に清しく甘やかで華やかな味わいで、まるで口中に一足早く、春が訪れたような味わいです。

4月のはじめにまたまた仙台に行きました。このときは残念ながら「はつしぼり」はもう売っていませんでした。代わりに「地元限定酒ゴールド浦霞原酒 720ml ¥1,200-」を買ってきました。またまた調べてみると「原酒とは簡単に言うと、製造過程で水を足してアルコール分を調整する工程があるのですが、その水を足さずに仕上げたお酒で普通の日本酒より2~3%アルコールが高い。従って日本酒本来の香りや旨みが深く味わえる」とありました。「原酒もうまいこと、うまいこと」

皆さんも一度味わってみてはと思います。この次仙台に行くのがとても楽しみです。

お酒に好きな会員 T.S



会員(正会員・賛助会員)動静

(1) 会員の退会

- ・ (株)土質基礎コンサルタンツ
- ・ 日鉄鉱コンサルタント(株)
- ・ 地質計測(株)
- ・ 住鉱コンサルタント(株)東京支店
- ・ 多摩ポーリング(株)
- ・ 大進開発工業(株)

(2) 代表者の変更

- ・ 日本物理探査(株)関東支店
 代表者) [新] 関東支店長 岡嶋 眞一
 [旧] 関東支店長 佐藤 剛

(3) 住所の変更

- ・ (株)キタック 東京支店
 〒111-0053 台東区浅草橋3-20-12
 ニュー蔵前ビル9階 A号室
 ※ 電話・FAX 番号には変更ございません。
- ・ 関東地質(株)
 〒110-0005 台東区上野3-10-9 国井ビル3階
 ※ 電話・FAX 番号には変更ございません。

住所、代表者、会社名等の変更がございましたら、
 お手数ですが協会事務局までご報告をお願い致します。
 (協会事務局 TEL 03-3252-2963)

行事日程

日程	行事名・内容等
5月21日(木)	第23回通常総会 於：測量地質健保会館 講演：「地下開発に伴う環境問題」 講師：独立行政法人国立環境研究所 客員研究員 陶野 郁雄 氏
7月11日(土)	地質調査技士資格検定試験 (全地連)



・ 編集後記 ・

今年も新年度を迎え、心新たに充実した日々を送っている人も多いと思います。巷では昨秋以降の景気の落ち込みで、日本経済は100年に一度の大不況との事。どこに行っても景気のいい話などなく、新聞やテレビのニュースでも暗い話ばかりです。

そんな中、通勤電車の中に明らかに新社会人と思われる若い人達を見かけます。彼らは新たな生活環境をスタートしたばかりで不安や戸惑いもあるはずなのに、目は輝き希望に満ちあふれた表情が感じ取れます。

私事で恐縮ですが、そんな彼らに学んだような気がして、初心に戻って今年度を過ごそうと思います。

(総務委員 A.T)



東地協ニュース 2009.5 第16号

発行・編集 (社)東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<http://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp

